

令和2年度 事業計画

1. 基本方針

少子高齢化の急速な進み方は、国内労働力減少の大きな要因となり、若い世代はもとより高齢者層においてもあらゆる業種で人手不足が顕在化しています。

また、企業や団体の継続雇用延長等の定着が、センターへ入会する方の伸び悩みと平均年齢の押し上げとなって現れています。

しかしながら、高齢者の社会参加や活躍の場の創出が今まで以上に求められていますので、長年培ってきた知識や経験、技能を活かしながら就業を通じて福祉の増進に寄与するシルバー人材センター事業の役割はますます大きなものとなっています。

こうした中、センター事業の安定的な運営を図るために「自主・自立、共働・共助」の理念の下、これまで以上に会員の増強と請負での就業や派遣事業等における臨時的かつ短期的・軽易な就業機会の拡大に重点的に取り組むことと普及啓発活動の強化やボランティア活動を通じて事業の推進に努めてまいります。

2. 事業実施計画

(1) 会員の入会促進

- ①新聞折込みチラシやパンフレットの配布を行い、会員獲得を目指します。
- ②互助会制度や同好会活動を紹介し、入会促進を図ります。
- ③役職員、会員の「ロコミ」運動を強化し、会員の拡大に努めます。
- ④ハローワーク窓口に広報誌をはじめリーフレット等の配置をお願いして会員募集を行います。
- ⑤入会希望者に随時説明会を開催します。
- ⑥センター事業の報道関係への紹介など、あらゆる機会を捉えてセンターを広く周知し、会員の増強に努めます。

(2) 就業機会の拡大

- ①チラシやパンフレットの配布を行い、就業機会の拡大に努めます。
- ②役職員、会員との連携を密にして、一般家庭からの再受注について「ロコミ」による活動の強化を図ります。
- ③町広報誌への広告掲載等を通して事業の周知を図り、企業、団体等との情報交換に努め、就業の拡大に繋がります。
- ④センター広報誌を発行し、賛助会員、各所への配布を通して事業活動の周知と共に就業機会の拡大を図ります。
- ⑤ホームページで情報公開を行い、事業の普及啓発と併せ就業の拡大に努めます。

(3) 一般労働者派遣事業の推進

- ①派遣事業を継続して推進し、多様な就業機会の確保に努めます。
- ②チラシや広告等を通して事業の周知とともに新たな就業先の確保を図ります。
- ③派遣事業に関する知識を深め、職員の育成を図りながら事業を推進します。

(4) 普及啓発・広報活動の推進

- ①チラシやパンフレットの配布を通してセンターの周知と普及啓発を図ります。
- ②会報「シルバーだより・新ひだか」を複数回発行し、会員、賛助会員及び関係各所への配布を通してより多くの情報提供を行います。
- ③会員募集を兼ねた折込みチラシを配布して広報活動を推進します。

(5) 安全就業と事故防止

- ①安全委員及び安全推進員による就業場所のパトロールを定期的に行い、安全対策の注意喚起と併せ「事故ゼロ」を目指します。
- ②安全就業チェック表の活用を始め、安全保護具の着用と器具点検及び作業に適した服装の徹底を呼びかけ事故防止に努めます。
- ③安全教育を目的に各種講習会、講話会を開催します。
- ④就業途上における交通安全の確認や健康チェック、熱中症予防対策等を通してあらゆる事故防止に努めます。
- ⑤安全就業基準の再確認を行い、就業現場等における安全意識の徹底を図ります。

(6) 知識・技能とマナーの向上

- ①会員の持つ技能・技術の更なる向上と知識を深めるために各種講習会を実施します。併せて、後継者の育成を図ります。
- ②親切丁寧を基本に、地域の方からの信頼を高められるよう研修等を行います。

(7) ボランティア活動の推進

センターの地域貢献活動として、二十間道路エントランス広場において清掃等の奉仕活動と「シルバーの日」に合わせて公共施設の剪定、清掃奉仕活動を多くの会員に呼びかけながら実施します。

(8) 会員の互助会活動支援

会員互助会が主催する交流会や研修旅行等の実施を通して親睦や情報交換を行い、連携を図りながら活動を支援してまいります。

(9) 組織強化と関係機関との連携

- ①理事会、専門部会において、センターの組織・事業活動のあり方について検討し会員と事務局との連携強化に努め、組織の強化を図ります。
- ②連合会、関係機関が主催する講習会、研修会、ブロック会議等各種会議に参加し知識の向上に努めながら組織の運営に役立てます。
- ③新ひだか町、北海道、公共職業安定所その他関係機関並びに全シ協、道シ連、各センターとの連携を深め、事業の運営強化を図ります。